

# 音楽科における習得・活用を意図した授業のあり方

音楽科 鏡 千佳子

## 1. 音楽科における習得・活用を意図した授業について

中学校学習指導要領（平成20年3月告示）の音楽科では、主に次のようなことが改善された。

(1) 「目標の改善」として、「音楽文化についての理解を深める」ことを目標の中に規定された。例えば、曲種に応じた発声や和楽器で表現すること、音楽をその背景となる文化・歴史と関連づけて鑑賞すること、我が国の音楽文化に愛着をもつとともに諸外国の音楽文化を尊重する態度の育成を重視することなどがあげられる。

(2) 「内容の改善」として

- ア 内容の構成の改善
- イ 歌唱共通教材の提示
- ウ 我が国の伝統的な歌唱の充実
- エ 和楽器を取り扱う趣旨の明確化
- オ 創作の指導内容焦点化・明確化
- カ 鑑賞領域の改善
- キ [共通事項]の新設

などがあげられる。

その中でも今年度の音楽科では、生涯にわたって音楽を愛好する生徒の育成のために、特に目標の改善として新たに規定された「音楽文化についての理解を深める」ことと、内容の改善から〔共通事項〕に着目し、我が国の伝統音楽や諸外国の様々な音楽がもつ固有の価値を尊重し、その多様性を理解できるようにしたいと考えた。また、音楽の認識を深めていくことが自己の音楽の世界を広げ、広く音楽の良さや美しさを感じ取る心につながると考える。

音楽科における習得と活用を意図した授業については、習得したものが1時間の授業の中ですぐに活用できるということにこだわらず、1年後、2年後、3年後に活用できるということも視野に入れて取り組んでいきたい。また、より深く音楽を認識させるために、長いスパンでの活用と並行しつつ、多様な音楽を理解するための重要な窓口となる基礎的・基本的な力も身につけさせたい。そこで新たに示された〔共通事項〕を通して、音楽に関する用語や記号など音楽を形作っている要素を習得させていきたい。

## 2. 音楽科における習得・活用に関する本校生徒の実態

本校にはピアノやバイオリン、その他管楽器や箏といった音楽の習い事をしている生徒が多いように思う。また授業に対してもとても意欲的である。しかしその一方で、合唱コンクールの練習の際に自分たちの合唱に足りないものや、更に上手になるにはどうしたらいいかなど、音楽に関する言葉で表現する術を持ち合わせていない生徒がほとんどであることがわかった。いくら一人一人が音や音楽のよさや美しさを感じていたとしても、それらを自分なりに音楽に関する言葉で表現できなければ相手に伝わらない。

習得する意欲はあっても、それらを活用する場面を見いだしたり活用する術を身につけている生徒が少ないのが実態である。

### 3. 音楽科における習得・活用を意図した授業実践例

1年4組 音楽科 学習指導案

平成21年5月29日(金)

第5限 音楽室

指導者 鏡 千佳子

#### 1. 題材名 「合唱する喜びを味わおう」

教材・「心の中にきらめいて」(田崎はるか作詞 橋本祥路作曲)

・「手紙」(アンジェラ・アキ作詞作曲 鷹羽弘晃編曲)

・変声期の様子を記録したCD

・「大地讃頌」(大木惇夫作詞 佐藤真作曲)

#### 2. 目標

・各声部の特徴と役割や全体の和声的な響きに関心を持ち合唱表現をする。

【音楽への関心意欲態度】

・他の声部とのかかわりや全体の和声的な響きを感じ取り合唱表現を工夫する。

【音楽的な感受や表現の工夫】

・他の声部とのかかわりや全体の響きに気をつけて合唱表現をする技能を身につける。

【表現の技能】

#### 3. 評価の観点及び規準

##### ① 音楽への関心・意欲・態度

各声部の特徴と役割に関心をもっている。

他の声部とのかかわりや全体の和声的な響きに関心を持ち、合唱表現することに意欲的である。

##### ② 音楽的な感受や表現の工夫

各声部の特徴と役割を感じ取っている。

他の声部とのかかわりや全体の和声的な響きを感じ取り、合唱表現を工夫している。

##### ③ 表現の技能

各声部の特徴と役割に気をつけて合唱表現をする技能を身につけている。

各声部とのかかわりや全体の響きに気をつけて合唱表現をする技能を身につけている。

#### 4. 指導にあたって

##### 【教材観・指導観】

「心の中にきらめいて」は比較的平易な旋律とハーモニーによる合唱曲である。また途中にベートーベンのピアノソナタ悲愴の第2楽章のテーマが入るなど馴染みやすく、初めて混声合唱に取り組む一年生には歌いやすい曲といえる。小学校までは同声合唱で歌ってきたが中学生になって初めて混声合唱に取り組むことになり、女子はソプラノパートとアルトパートに分かれ、男子は今まで歌ってきた音域より1オクターブ下の音域で歌うことになる。音域が広がることから同声合唱とは異なる響きの合唱を味わうことで、他の声部とのかかわりや全体の響きに注意を向けて表現する能力を養っていききたい。一年生

の今の時期は変声を迎える時期にさしかかっており、歌唱の授業をしても、歌いにくい生徒が多く見られる。声が裏返ってしまい、歌うことに自信をなくしてしまっている生徒もいる。そこで、変声の記録を聞くことで、変声は誰にでもあり、また個人差もあるということを理解させ、現状の不安を和らげたいと考えた。変声後に歌うことに消極的になったり自信をなくしたりせずに、新たな大人の声に成長したという自信につなげていきたい。

本時の授業では二人の男の子と三人の女の子の変声の記録を使う。変声は自分自身のことだが、文章だけでは理解しにくいので、客観的に変声の変化を聞くことで変声期の認識につながると考えた。この記録は、長い期間で変声していく古庄君と短い期間で変声が終わる今野君の様子が記録されており、いろんな変声のパターンがあることが理解できる。また、女子の記録もあるので、変声期とは無縁だと思っている女子にも意識付けができるといえる。この教材を通して変声期に関する知識を習得し、今後の歌唱活動における発声に生かしていく。

### 【生徒観】

1年4組の生徒は男女仲が良く、明るい雰囲気クラスである。また、音楽への関心も高く、合唱コンクールの練習にもやる気が見える。その中で、13歳という成長期にさしかかるに従って、声の成長も始まってきている。男子の中には小学校の段階で変声期を終えてしまっている生徒もいれば、まだボーイソプラノの声の生徒もいる。合唱コンクールの練習をしても、歌いにくいという生徒も何人かおり、今までのように歌えないはがゆさを抱えている。

### 5. 指導計画及び評価計画（総時数5時間）

評価計画

- 第一次 各声部の特徴と役割に気をつけて合唱表現をする。【本時】（3時間）①②③  
第二次 各声部とのかかわりや全体の響きに気をつけて合唱表現をする。（2時間）①②③

### 6. 本時の学習（第一次中 第2時）

- (1) 題材名 変声期について理解し、各パートの特徴と役割を感じ取ろう。
- (2) ねらい 各声部の特徴と役割を感じ取る。【音楽的な感受や表現の工夫】
- (3) 評価の観点及び規準

②各声部の特徴と役割を感じ取っている。（観察・発言・ワークシート）

- (4) 習得活用に関する学習活動について

各声部の特徴と役割を感じ取り、変声期に関する知識を習得し、今後の歌唱活動における発声に生かしていく。

(5) 本時の展開

学習活動内容	教師の指導支援及び留意点 評価(◆)と方法	時間
1. 女声合唱と混声合唱の違いを聴く。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同じ曲で女声合唱と混声合唱の二通りのものを聞き比べ、違いを聴き取る。</li> <li>・わからない生徒には声の高さに注意して聴くように声をかける。</li> <li>・女声合唱と混声合唱の違いについて説明する。</li> <li>・各声部の役割が理解しやすいようにカードを使う。</li> <li>・声部の役割を感じ取り、もう一度聴く。</li> <li>・混声合唱ではテノールが入ることを確かめ、どうして小学生のときまでは同声合唱で中学生になったら混声合唱になるのか聞き、本時のねらいにつなげる。</li> </ul>	10
2. 本時の活動内容と目標を知る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「変声期について理解し、各パートの特徴と役割を感じ取る」</li> </ul>	3
3. 変声期のプリントを読む。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・変声期について話し、一連の流れを知る。</li> </ul>	5
4. 変声期の録音を聴き、ワークシートに記入し発表する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男子の場合、女子の場合の2回に区切ってそれぞれについてワークシートに記入し、発表。</li> <li>・生徒が発表したことを板書する。</li> </ul>	20
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>◆音楽的な感受や表現の工夫 (観察・発言・ワークシート)</p> </div>		
5. 合唱曲を聴く。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・混声合唱曲を聴いて、男声パートが入ると厚みが増してダイナミックな合唱になることを確認する。</li> </ul>	5
6. 感想を書く	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これからの歌唱活動にどのように生かしていくかも含めて変声期についての感想を書くよう助言する。</li> </ul>	5
7. 自己評価表に記入する		2

# 変声期

1 年 組 番 名 前 \_\_\_\_\_

♪ 変声期のCDを聴いて・・・

1. 古庄君の場合      変声の期間      (長い)・短い  
 今野君の場合      変声の期間      長い・(短い)

◎変声前と比べて変声期の最中～変声後では声にどのような変化がありましたか？

(変声前)  
 高い声がかっこよく出ている。声にざらついたものがなく、すきとおった感じがした。



(変声期の最中→変声後)  
 高い声がかくなくなくなってきて、声全体が低くなっている。変声期の最中は、高い声を出した時に少しざらついた声がかかっているような感じがした。変声前より大人っぽい声で、低音を出しやすそう。


2. 女子の場合

◎男子と比べて女子の変声期はどのような変化がありましたか？気づいたこと、感じたことを書きましょう

変声期がおわると、声が明るくはなやかに感じられるようになった。男子と比べて、声の高さに大きな変化はないように感じた。

3. あなたの声はもう変声期を迎えましたか？自分の声と関連させて今日学んだことの感想を書きましょう。また、今後の合唱活動に生かせるようなことがあれば書きましょう。

私は、変声期に対してあまりいいイメージを持っていなかったけれど、男子も女子も、大人の声になっていくための大切な期間なんだなと思いました。変声期を終えることで、その前とはまた違った声が出せるようになり、またすてきなハーモニーをつくることができるのだなと思いました。



# 変声期

1 年 組 番 名 前 \_\_\_\_\_

♪ 変声期のCDを聴いて・・・

1. 古庄君の場合      変声の期間      (長い)・短い  
 今野君の場合      変声の期間      長い・(短い)

◎変声前と比べて変声期の最中～変声後では声にどのような変化がありましたか？

(変声前) 高い声がかくなく出して音にざらつきがない。



(変声期の最中→変声後)  
 声にざらつきが見えてきた。高い声がかくなく出る。高い声がかくなく出る。声か低くなる。


2. 女子の場合

◎男子と比べて女子の変声期はどのような変化がありましたか？気づいたこと、感じたことを書きましょう

男子と比べて女子は変声する大きさが小さい。女子は声がやわらかくなった。(ひびくようにならず)

3. あなたの声はもう変声期を迎えましたか？自分の声と関連させて今日学んだことの感想を書きましょう。また、今後の合唱活動に生かせるようなことがあれば書きましょう。

僕は、もう変声期の最中というよりももう完了した感じでした。だから、今日学んだことは自分が体験したことにはあてはまったのでとても興味がありました。今後は無理せず自分の合唱を作りたいです。



#### その他の生徒の感想

- 男子は変声ですぐにわかり、声質も変わっていたのに、女子はあまり変わっておらず驚いた。  
私は変声してもあまり声が変わらないかもしれないけれど、男子は変わると思うので、変な声が出て「変」と思ったりはしないようにする。
- 私は歌を歌うことが好きなのでよく歌うのですが、最近少しずつ高い声にわずかなふるえがあることを感じました。自分の声の変化にも敏感になって、歌う歌をそのつど自分で選んでいければいいと思います。そしてみんなの変声期も理解したいです。
- 私は前より少し声が低くなったような気がするので（昔歌えた歌が歌いにくい）これからも少しずつ変わっていくと思いますが、声が変わってより良くなるものを多く生かして歌っていきたいです。
- 私はもともと声が低いので、変声期を迎えるともっと低い声になってしまいます。ちょっと嫌だけど楽しみな面もあります。変声期後は自分に合ったパートを選んでみんなで合唱すればより良くなると思いました。
- 変声期後は高い声が出なくなるので、高い声を無理に出そうとせずに歌っていけばよいと思った。僕が低い声になるのはまだ想像ができません。でも気がつくとき驚くほど変わっているのだと思った。
- 私はこの授業を受ける前まで変声期に対してあまり良いイメージを持っていませんでした。でもこの授業を受けて変声期を迎えるということは音が響き、落ち着くことで、良いことだと思えるようになりました。今後の合唱活動では自分の声を生かして歌いたいと思いました。
- 声に変化する過程を初めて知りました。もし周りで変声期になっている人がいたら、からかったりするのとは絶対だめだと思いました。変声期は誰にでも来るし、子供の声から大人の声に変わる時期だということもわかりました。女子にも変声期があることは知りませんでした。

#### 4. 成果や今後の課題

実際に変声期の様子を聞いたことで、変声期を迎えていない男子生徒は変声前と変声後ではこんなに変わるものなのかという驚きがほとんどであった。中には今の声を失うのが嫌で変声期を迎えたくないという生徒もいたが、男子の声が低くなり、落ち着いた大人の声になることで小学生のときとは違った混声合唱ができるという期待と喜びにつなげることができた。変声期を迎えた男子生徒にとっては自分の体験と照らし合わせて聞いている生徒の姿が多く見られた。また、変声期とは無関係だと思っていた女子生徒にもこの学習を通して自分の声というものに対し関心を持ついい機会となった。この授業では変声期というものが知識として生徒の中に学習されたと思うが、今後はその知識をどのように合唱活動や歌唱表現に活用していけるのかを生徒の経過を見ながら研究を継続し、3年間の学習の中でどのような課題が効果的であるかを考えていく必要があると感じた。